

日限山小学校・南舞岡小学校の 学校規模適正化に関する説明会報告

発行日：令和6年7月9日

発行：横浜市教育委員会事務局
学校計画課



<開催日時・会場>

◆令和6年4月26日(金) 会場：舞岡地区センター
18:00~19:00 参加者：17名

◆令和6年4月27日(土) 会場：舞岡地区センター
10:00~11:00 参加者：15名

<説明会の趣旨>

現在、南舞岡小学校は一般学級数が9学級の小規模校となっており、隣接する日限山小学校も児童数が減少していく見込みです。そこで「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会において、両校の児童にとってより良い教育環境を整えていくために、学校規模適正化に向けた具体的な対応を検討しています。検討部会の検討状況については、各回終了後に部会ニュースでお知らせしているところではありますが、改めてこれまでの検討部会の検討状況について、日限山小学校及び南舞岡小学校の保護者の方、両校の通学区域内にお住まいで御関心のある方を対象に、説明しました。

■ 説明会における主な意見・質問等 (凡例 ☆：意見・質問、→：事務局からの回答)

☆会場がどうして地域から行きにくい舞岡地区センターなのか。

→ これだけのスペースがあるところを考えた時に、どちらかの学校の体育館なども検討をしましたが、現在は、両校の保護者や地域の方が入って検討が進んできた段階だと思っています。その中でそれぞれの地域別、学校ごとに説明するよりも、両校の方に一緒に説明を聞いていただき、お互いの考え、意見などを共有する場を設けた方がいいという判断をしました。今回の会場について、皆様方に不便な会場となってしまったことについては、お詫び申し上げます。

☆夕方6時から7時というのは子供のいる家庭では一番大事な夕ご飯の時間だが、なぜこの時間に設定したのか。

→ 夜間の時間のご希望というのは各家庭の事情もあると思ひまして、お勤めされている方の参加しやすい時間として平日18時からと、土曜日の午前中、それぞれ一回設けさせていただきました。

☆地域の問題として、各所属団体の自治会館などでこの経過説明をしていただきたい。

→ ご意見として承ります。引き続き丁寧な説明に努めてまいります。

☆今、使っている学校だからこそ、地域防災拠点としていざという時に機能できると思う。

→ 校舎を使わなくなっても、後利用が決まるまでの間は、地域活動でグラウンドや体育館などを使用し、地域防災拠点としての機能をそのまま残している学校が多い状況です。

☆義務教育人口推計の精度が低いから、精度を高めるために計上したという話を聞いた。その予算をいくら計上したのか。なぜ計上したのか。これからどうなるのか。

→ R6年度予算として、約800万円を計上しています。計上した理由ですが、大型の集合住宅が建つときの影響などをもう少し精査しようということで予算を積んでいます。

☆義務教育人口推計の精度を上げてから、学校統合を検討していただきたい。

→ 日限山小学校と南舞岡小学校の学区についてはほとんどが第一種低層住居専用地域で大型の集合住宅が建てられるエリアではないため、急激に人口が増えるということは考えにくいと考えています。

☆10世帯入るアパートがすでにできていたり、他のところでも空家がどんどん建替えられているので、ぜひそういうところを加味していただきたい。

→ 10戸以上の新築物件については、義務教育人口推計に反映されています。引き続き、急増物件について注視してまいります。

☆閉校している野庭中学校は今どうなっているのか。

→ 野庭中学校については、地域防災拠点として引き続き使用しています。また暫定利用として、地域活動などにも使用されている状況です。

☆野庭中学校は地震が起きた場合などに地域防災拠点としてすぐ使える状態なのか。水道に問題があると聞いている。

→ 校舎や体育館について、必要な管理は行っています。水に問題があるというようなことがあれば、所管の方に確認させていただきます。また、飲み水に関しては備蓄品での対応になると思います。

☆地域の代表として、自治会の役員、会長等を選んだ理由はなにか。

→ 地域の代表は、日頃からよく学校に関わっている方を各団体から選出させていただいており、必ず、自治会長にお願いしているわけではありません。自治会の中でも日頃から学校に関わっていただいている、子どもたちの状況、学校の状況をよくご理解いただいている方ということでお願いしています。

☆自治会やPTAに入っていない方の意見はどうするのか。

→ 自治会・PTAに入っていない方もこの検討部会にいろいろなご意見（電話・FAX・メールなど）をお寄せいただいています。ご意見については、検討部会で、全てご説明し、検討を進めていただいています。

☆小中9年間同じメンバーで学校生活を過ごすことを不安に思っている保護者の方がすごく多かった。9年間も同じメンバーで過ごすのはどうかと、中学校に上がる段階で変化があって新しいお友達との出会いがあった方が、良いという意見の保護者の方が多かった。

☆小学校卒業後に両校同じ日限山中学校に進学し、交流をしている現状が一番良いのではないかと思う。

→ 中学校で初めて他のクラスの人や、他の小学校を卒業した人に接するというのも、大事なことだと思いますが、小学校の間にクラスという小さな単位でそのような経験を積んだうえで、中学校、高校と上がってきたときにも、また他の人と接する機会を得るというのも大事なことだと考えています。

☆学校がなくなったら地域が衰退する。日限山小学校は港南区にあり、不動産を買おうと思ったときに、戸塚区の南舞岡には小学校がないと認識する。学校まで近いからいいという話ではない。

→ 統合して日限山小学校の校舎に通う場合、通学距離はどこからも概ね2km以内におさまリ、地域から学校がなくなるわけではありません。また、市内では通学距離が2km圏内で、区の行政界をまたがっている学校は他にもあり、すべての地域に学校が必ずあるというわけではありません。仮に統合した場合には、通学区域の中心にある日限山小学校の校舎の使用を事務局として提案したところです。

☆学校は子どもたちに関わるだけでなく、防災拠点という大事な役割がある。子どもたちを守ること、地域を盛り上げていくことを考えてほしい。もっと地域の事も総合的にとらえて、私たち地元住民の声を十分に聴いてもらい、検討部会のメンバーを見直して仕切り直してやってほしい。

→ 学校が地域にとって、大事なところというのは重々承知しております。その一方で、学校教育を考えたときに、子供たちにどういう教育環境を大人が用意するのか、横浜市として用意するのか、そういうところも考えなければならないと思っております。適正規模の教育環境を準備することも教育委員会としては大事なことだと思っております。地域として、学校を残してほしいという思いも理解しております。最初から統合について考えたのではなく、なんとかこの地域全体で学校を維持していく、学校の教育環境を整えていくことができないかということで、通学区域の見直しについて、かなり時間をかけて色々なパターンを委員の方から意見をもらいながら考えさせていただきました。南舞岡小学校が小規模というだけでなく、日限山小学校も徐々に小規模化している状況です。その両校の状況を考えると、両校を閉校し、この地域で新しい学校を創る方がお互いに良い環境になるのではないかと、学校としては、日限山小学校の校舎を使いましょうと、そういうところまで事務局から提案しているところです。

☆クラス替えという選択肢がなかったとしても、今は、一人1台の端末があるので、それでもオンライン授業や別室登校という選択肢もある。必ずクラス替えがないといじめに対する対策ができないというのは違うと思った。

→ クラス替えがないといじめ対策ができないと考えているわけではありません。いじめ被害があった場合に、いろんな手法を使っていじめの問題は解決していくべきだと考えておりますが、クラス替えがあると、その手段が一つ増えると考えております。

☆なぜ横浜市の税金で運営している学校がなくならなければいけないのか。本当に子どものことを考えるのであれば、35人学級という日本の水準で考えるのではなく、より少人数学級である世界の水準で考えた方がよい。このような不安を与えるだけのことを真面目に話していること自体が、子どもにとって全然良いことではない。

→ 全国的にようやく35人学級の導入が進められてきた状況です。南舞岡小学校だけではなく横浜市全体の小学校の話になってきますので、今、早急に1クラスの人数をもっと少なくするというようなことを検討できる状況にはありません。ただ、横浜市として、今のお子様にも今できる教育環境を、どのようにしたら良いかということで、今回のご提案をさせていただきます。

☆今日の説明会だけ見ても、令和8年度からは無理だと思う。本当によくしたいのなら、もっと議論しないとだめではないか。なんで令和8年なのか、10年ぐらいかかる話だと思う、そんなに早く統合したいのか。お金がないのか、先生が足りないのか、ならばそうはっきり言ってほしい。先生がいません、お金がありません、だからどうしても統合させてくださいと頭を下げてほしい。どうしたら統合させていただけますか地域の皆さん、と聞いてほしい。

→ 学校規模の適正化は、学校の先生が足りない、予算を減らしたいから進めているものでは決してございません。現在、南舞岡小学校は、一クラスしかない学年が3つあり、多様な個性に触れあったり、意見交換をしたり、切磋琢磨するような環境がほかの2クラスある学年と比べると、少ないというところがあり、こどもたちの教育環境をより良くするために学校規模適正化を進めています。

☆学校規模の適正化は文部科学省が言ったことをただ言っているだけなのか。そこに教育的な根拠はあるのか。個人的な意見ではないのか。

→ 学校規模適正化を進めるにあたり、有識者を入れた会議で方針（「横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針」）を定めて、取り組ませていただいております。そのため、個人の考えで行っているわけではなく、あくまでも子どもたちにどういう学校、学習の環境を提供できるかという面から考えているということは、ご理解ください。

☆適正化とはなにかもう一度考えてほしい。同じようなことをメールで書いたが、部会ニュースに何も載っていない。アンドウ様より（※ご本人の希望により、氏名を掲載しています。）

→ 今回の説明会でいただいたご意見として、次回の検討部会にも報告のうえ、説明会報告書に掲載させていただきます。未回答のものの有無を確認し、未回答のものがあれば、その旨を検討部会に報告します。

※これまで事務局宛にメール・FAX・郵便・電話等でお寄せいただいたご意見・ご質問等につきまして、未回答のものは確認できませんでした。もし未回答のものがありましたらお手数ですが、再度送付いただければと思います。

☆事務局が出しているデータでも、令和5年度から11年度の7年間で南舞岡小学校の児童数は3人しか減っていない。7年間で3人減というのは誤差の範囲だと思う。3人減って、3クラス減るのか。

☆全体で3人しか減っていないのに、クラスも3クラスも減りますというのはおかしい。理由を聞いたら、全部を35人上限のようにすると、小規模になる、単級になる、と言われるのは納得がいかない。

→ 南舞岡小学校の実際の学年別の児童数をみていただくと、例えば4年生は38人で2学級となっていますが、もし3人減って35人になると1学級になります。5年生は17人で1学級となっていますが、あと19人の児童がこちらに引っ越してくれば2学級になります。このように、もともといる児童の人数が35人に近い学年だと、数人変わってしまうだけで学級数が変わりますので、35人近くのところの3人で学級数が減少した結果となっています。

→ 部会ニュースの第6号10ページに将来の見込みについて学年ごとの計算の数字を掲載しております。本日の説明会の資料の中にその部分がなかったことについてはお詫び申し上げます。

☆今の南舞岡小学校になにか問題があるのか。私の子どももそこを出ているが、なんの問題もなかった。

→ 南舞岡小学校も日限山小学校もそれぞれ、先生、保護者の皆さん、地域の方も支えてくださっている、良い学校だと認識しております。そのため、もし仮に統合となっても、それぞれの学校のよいところを新しい学校に引き継いでいくということについて、部会のなかで検討しているところです。その一方で、6年間ずっと同じメンバーで学習するよりは、クラス替えなどで環境が変わり、新たな意見や多様な個性に出会う機会を子ども達に提供したいと考えております。

☆クラス替えができない単学級や複式学級で児童が育った状態は、集団の中でどのような差があるかというデータは持っているのか。

→ 国が「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」で示しているように、各学年で複数の学級を編成できる場合は、クラス替えが可能になることを含めて、児童・生徒同士の人間関係や児童・生徒と教員との人間関係に配慮した学級編成ができるなどのメリットがあるとされており、

☆文科省は12から18学級を標準クラスにしていますが、横浜市はなぜ12から24学級を適正規模校としているのですか。横浜市は24学級にしても大丈夫だという教育的な根拠はどこにあるのか。

→ 横浜市は都心部であり子どもの人数なども考えたうえで、学校規模適正化等検討委員会で検討していただいた結果です。（横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針）

☆検討部会を公開してほしい。

→ 検討部会の公開・非公開については、毎回部会で決めています。部会委員が発言された意見については、部会ニュースの中でまとめて掲載しています。

☆検討部会の議事録を出してほしい。

→ 非公開で行っている会議の議事については、公表していません。

☆個別支援学級は学校規模の数字には入れないのに、一般学級の教育の観点のみで学校統合を決めて、個別支援学級の子は明日からもうこの学校に行つてねという話になるのか。

→ 個別支援学級に通っている児童の保護者の方などの意見を反映してないとは思っていません。あくまでも個別支援学級は個別支援学級の考え方をもって運営しています。実際に統合となった場合、それぞれの学校の個別支援学級の児童について、どのような配慮が必要で、どのようにクラス編成・サポートをしていくか検討していきます。

☆統合すると人数が500何名になります。文部科学省の基準だとグラウンド面積が足りないのですが、それも横浜市独自に、足りなくても良いということなのか。

→ 限られた敷地面積の中で、教育上必要な面積を確保するように努めています。

※120mトラックを確保するために必要な運動場の面積として、3,800㎡を市立小学校の基準としています。なお、日限山小学校は4,018㎡となっています。

☆ニュースで横浜市のいじめのことがあり、同じ中学校で2件起きていたと聞いたのですが、その学校の規模はどんな規模であったのか教えてほしい。

→ ニュースで御覧になった学校がどういったところだったのかということについて、こちらの方でお答えすることはできません。ただ、学校の規模といじめについて相関関係があるということはございません。

☆学校の規模といじめについて、相関関係がないとどうして言えるのか。

→ 教育委員会内部で確認をしておりますが、学校の規模といじめの発生について、学校の規模が小さいからいじめがある、大きいからいじめがある、そのような相関関係はありません。

☆統合したあとのアンケートはあてにならないんじゃないかなと思う。他の小学校のアンケートはとったのか。そういう結果が知りたいと思う。

→ これまでもアンケートについては、説明資料に掲載している学校のほかに、平成24年頃に3校に対し実施しております。また、最近の統合校について、学校長に聞き取り調査を行っております。アンケート結果につきましては、他の学校でも、クラス替えが経験できたという御意見があったり、運動会などで色々な取り組みができるようになったという御意見も頂戴しております。一方、よくなかったという御意見としては、なじむまでに少し時間がかかった、通学路が少し遠くなったといった御意見をいただいております。

☆説明会資料にある菅田の丘小学校での聞き取り調査は、何人に聞いたのか。

→ 菅田の丘小学校での聞き取り調査については、約20名の児童を対象に行いました。

☆地域の方が反対の署名をしていたり、各家庭にポスターが貼られているのを見かけるようになって、反対の署名も3000筆くらい集まっていると配付物で知りましたが、検討部会で話にあがっていないようにニュースを見る限りでは思った。把握されているのか、話が出ているのか確認したい。

→ 署名に関しては検討部会の皆さまもご存知です。

☆児童数・学級数が増えることとできることとあるが、良いことしか書いていない。課題になることが書いていないのはどうしてなのか。

→ 適正規模を標準として学校運営を行っておりますので、そこから少しずれたところで発生するものをデメリットと私たちは捉えております。課題となるものが無いかたちで適正規模というものを考えているので、この資料の中ではこのような表現になっています。

☆小規模校と大規模校に関係なく、いじめは必ずあるという風に私は受け取った。小規模校だけ、いじめの問題をクローズアップして、大規模校にないという言い方をしていたが、そこを明確に答えてほしい。

→ いじめそのものは学校の規模に関係なく発生すると考えております。ただ、いじめの初期段階にどうい対応がとれるのか、早いうちに解決策を考え、取り組んでいくことが大事だと考えております。例えば、いじめに至る前の話でも、人間関係が固定化してしまうと、どうしても物が言いにくくなることもあります。クラス替えをして、物理的に距離が取れることで、気持ちをリセットして、人間関係を見直す機会を提供できるのではないかと考えております。説明会資料に書いてある「人間関係の固定化」＝「いじめ」ということではありません。

☆内部改修のみで、教室を増やすという計画が出ているが、増築やプレハブを建てることはないのか、内部改修という認識でいいのか、校庭がどれくらい狭くなるのか、具体的に教えてほしい。

→ 内部改修というのは、建物を建てずに今ある建物の中の諸室を改修して教室化することです。統合した場合に必要な教室数は25教室を見込んでいますが、日限山小は内部改修で29教室まで確保できるので校庭の広さは変わりません。一方、南舞岡小は、内部改修で最大22教室までとなり、それだと教室数が足りないため増築が必要となりますが、南舞岡小の敷地の形状からグラウンド部分に増築するしかないという状況です。

☆子どものための教育委員会なのに、理由をつけて個別の子をカウントしないのが分からない。資料の中に個別の子は一般級の子と交流の場がある、と書いてあったが、交流の場があるということではなく、一緒。分けて考えないでほしい。

→ 一般学級は35人を上限としておりますが、個別支援学級は1学級8人までを上限としております。また、学年別でなく、障害種別のクラスに分かれていて、一人ひとりの教育的ニーズを捉えて、対応するという教育環境となっております。そのため、単純に一般学級の人数の中に含めてしまうと、個別支援学級の特性が薄れてしまうこともあり、このような表現をさせていただいております。ただ、個別支援学級の関係者の方からも、もう少し配慮がほしいといった御意見を頂戴しておりますので、そこについては今後、検討していきたいと考えております。

☆少子化、まちづくりの全体の観点から見ないと、子どものためと言えないと思う。数だけでは、子どもにとって良い環境はできないと思う。

→ 今の子育て、子どものことを考えた街づくりも一緒に考えていく必要があるということは、横浜市としても大事なことと考えております。教育委員会だけでなく、様々な部署と連携しているところです。ただ、まちづくりというものは、かなり時間がかかる政策です。今、学校に通っている児童の教育環境を考えることと、まちづくりについて合わせて検討できないということは、どのくらいのスパンでものごとが動いていくという時期の問題に違いがあると御理解いただければと思います。

☆いじめと不登校の子どもたちが横浜市でどれくらいで、全国的にはどれくらいか。それと横浜市の中で、南舞岡と日限山が何人か、数のデータを出してほしい。

→ いじめの件数とか不登校の件数については、手持ちではありませんが、横浜市では、市全体の数字をHPで公表しています。ただ、各学校別となると、当事者の特定などが可能になってしまうため、公表しておりません。

☆私はこの統廃合に反対の立場です。南舞岡小学校は約 20 人で、世界的水準ではないかと思う。

→ 日本では 35 人学級を進めている状況で、いますぐ 20 人学級にしますという流れにはならない、難しいというのが現状です。また、子育てしたいまちづくり、子どもが増えるような施策は横浜市として様々な部署が取り組んでいるところですが、その結果が出るまでにかかなり長い時間がかかると思っています。教育委員会としても、今ある環境の中で、より子どもたちにとって良い教育環境を提供したいと考えており、学校の適正規模化の検討を行っている状況です。未来の子どもたちのこと、地域全体の将来のことを考えていくこと、それぞれの検討に要する時間が異なっていることから、この取組を進めています。

また、20 人学級が推奨されているのは諸外国の話で、現在、日本では 35 人学級の導入が進められているところです。今後、さらに 20 人学級という形で進められていくかどうかは、まだ全 6 学年での 35 人学級が実現できていない状況ですので、それが終わった後に国の方でも検討していくことになると思われれます。今この先どうなるのかというのは、教育委員会でお答えするのは難しいと考えます。

☆南舞岡小学校は、避難場所として指定されているが、今後どうしていくかが何も出されていない。学校が残っていれば良いということではなく、施設は使っているからこそ災害時にも対応できるということを念頭に置いて、今後どうするか考えをだしてほしい。

→ これまで、学校統合をするということを決定していないなかで、統合校の校舎として使用しない方の学校の利用について部会で議論をしてこなかったという経緯がありますので、今後、統合が決まった場合には検討が必要となる事項だと考えております。なお、これまで学校統合を行って、使用しない方の校舎については、そのまま地域防災拠点として使っているところが多いです。また、学校開放等で使われる体育館などについても、引き続き地域の方が使用している状況がほとんどとなっています。

☆現在、算数と国語の苦手な子と得意な子を分けて勉強を教えてもらっているが、統合した場合は、使える空き教室がなくなり、それができなくなるのではないか。そうしたら、学力の低下や教育の質も落ちてしまうのではないか。

→ 一般学級に増やせる教室の最大教室数が 29 教室となります。統合した場合に必要な教室数は 25 教室となっていますので、空き教室はなくなりません。また、算数・国語等の習熟度別にクラスを分けた指導などの取組みについては学校で引き続き行えるような学校運営を考えていくこととなります。

☆今意見を出しているのは南舞岡の地域の方が多くと思う。日限山の地域の方の意見はどうなのだろうと疑問に思っている。

→ 部会の議論の中で、日限山小学校の関係者の方々も考えてくださっています。日限山小学校も年々児童数が減少しており、将来的に小規模校化が見えてくる状況にありますので、自分ごととして議論していただいています。

☆もし統合するときには、良い形で学校が創られていくことを望んでいる。南舞岡の地域の方からの意見が多く、日限山の地域の方がどのように感じているのか疑問に思う。実際に統合することになったあと学校名や校歌を考えていくときに、日限山の地域の方からネガティブな意見がたくさん出てくると、統合した後に南舞岡の地域の方が肩身の狭い思いをするのではないかと不安に思っている。例えば、日限山の地域の方の意見もとれるように、関係する自治会でアンケートを取るなど検討していただければと思う。

→ 学校を統合して新しい学校を創ることは、学校名や校歌等を新しくすることになります。大切なのは、両校のそれぞれの良いところや文化をどのようにして新しい学校に引き継ぐかという意見を部会の皆様からいただいています。なお、教育委員会からアンケートを取ってくださいとお願いはできませんので、日限山の地域の方の意見がもっと聞きたいというご意見と合わせて、アンケートの要望についても次の部会でご報告させていただきます。

☆以前の相談会で、規模適正化のために何か具体的な策をまとめることができるのであれば学校統合をしなくても部会の意見としてまとめることはできると聞いた。子どもが増える政策を横浜市で考え、実施しているということだったので、それならその施策をこの地域でやってみるというのも一つの案になるのではないか。こういう施策を他都市ではやっているとか、こういうことをやれるということ横浜市が提案して部会で支援してほしい。

→ まちづくりについては、かなり長いスパンで考えていかなければなりません。その中で小規模校の児童の教育環境をより良いものにしていくためにこの部会をやっております。まちづくりについて、ご意見としては非常に大事なことだと思っています。部会にもご意見があったということはお伝えさせていただきます。

☆まちづくりについて意見があったということをお伝えしたところで部会ではどういう施策を考えるかまではできないと思う。それを考えるのは横浜市だと思うので、横浜市ではこういうことができるなど、統合以外の選択肢を横浜市から提示してほしい。

→ 他局では、子育ての支援を行っていたり、まちの再生に取り組んでいたりする部署があります。ただ、そのような施策で南舞岡小学校のエリアに対し、何か行うという判断に至るまでには検討に時間がかかるとお聞きしております。教育委員会では現在の子どもたちの教育環境について、学校規模の適正化を検討しているということをご理解いただければと思います。このようなご意見をいただいたことは部会だけではなく、関係部署にもお伝えさせていただきます。

<その他の御意見>

☆部会ニュース第7号を見た人達は、もう統合されるのだと思ってしまいます。統合ありきで南舞岡をどんどん教育の場から外そうとしているように感じる。

☆学校は一度なくなってしまったら、なかなか戻ることはないと思う。慎重にお願いしたい。

☆R10の児童数をR4時点の推計とR5時点の推計で比べると6名ないし7名の違いがある。わずか一年でこの差は推計の精度を疑わざるを得ない。

☆このまま児童の人数が少なくなって困ってしまうということをお知らせしていただいて、色々な方法を試した上で、それでも、これは統合した方が良いな、このような流れだったらみんな賛成ができたんじゃないか、と言っている保護者の方がいた。

☆統合するのであればもう少し時間をかけてお互いの地域の交流、差別的な意見がなくなるまでちゃんと時間を取ってそれからの統廃合であってほしいという意見の方が多かった。

☆地域の若いお母さんたちは、学校が廃校になったら困る、本当にどうしたら良いのかと話し合いをしていると聞いている。

☆中学生になってもいじめの相談をしたのは南舞岡小学校の先生だった。南舞岡小学校に行って親身になって先生に話を聞いてもらえて、今中学校に行くことができている。もともになる学校がなくなったら、子どもはどこに頼ればいいのか、根本がちぎられるような状態になる。そういうのを親としては見てはいられない。

☆まだ意見を言い足りないので、また説明会を開いてほしい。

☆先生が大変だとか、何人になったからとか、学校をつぶさないといけないとか、そうじゃなくてももっと、大きな目で子どもたちを見てもらいたい。この検討部会を一度、止めてほしい。

☆検討部会が教育委員会の中に入っているのにも関わらず、その部会で決定したことは、参考程度にしかななくて、最終的には教育委員会が決めますというニュースももらっている。それではまちの声を聴くに値しないと思う。部会を真剣にやってくれる人たちにも失礼なんじゃないかと思う。